

# 一般質問通告一覧表

令和7年 第2回定例会

質問順序	議員名	質問項目		細目方式選択
1	石山憲司	1	町長が目指すまちづくりについて	○
2	加藤徹己	1	修学旅行に関わる支援の充実を	
3	水谷令子	1	移住定住支援の見直しで、新しい人の流れを	
4	梅村智秀	1	町国保病院職員による患者への暴力行為について	
5		2	企業誘致の現状について	○
6	藤田直美	1	5歳児健診で切れ目のない支援を	
7		2	住民を巻き込んだゼロカーボンシティの推進を	
8	丑若浩行	1	若者が住みやすいまちに	

# 一般質問通告書

議席番号 6 番

議員名 石山憲司（1問目）

質問事項	町長が目指すまちづくりについて		
質問要旨	町長は後援会の再選出馬要請を受け、5月19日記者会見を開き、正式に立候補を表明されました。町長のこれまでの成果と目指すまちづくりについて、お伺いします。		
要旨の明細	<p>(1) 町長は「5つの笑顔構想と43項目の公約」を掲げ、町政を運営されてきました。私は公約が順調に推進されていると考えますが、町長御自身の見解をお伺いします。</p> <p>(2) 町長は、令和3年就任挨拶で、当時スタートしたばかりの第7次本別町総合計画の着実な推進をと話されています。総合計画の中、町長が手がけ継続される下記事業の進捗状況、今後の見通しについてお伺いします。また、事業の推進に当たり、対話や情報発信が重要と考えますが、見解をお伺いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①本別公園オートキャンプ場</li> <li>②太陽の丘複合ゾーン</li> <li>③消防庁舎移転新築</li> <li>④地方創生SDGs課題解決モデル都市、SDGs未来都市</li> <li>⑤企業誘致（旧営林署苗畑跡地）</li> </ul> <p>(3) 町長の基本理念「対話をかさね、想いをひとつに」、また、目指すべきまちの姿「心合わせて、みんな笑顔に」とあります。これらについて継続していくべきと考えますが、町長が目指すまちづくりについて、見解をお伺いします。</p>		
質問の相手	町長	一問一答細目方式	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。（複数枚可）

# 一般質問通告書

議席番号 2 番

議員名 加藤 徹己 (1問目)

質問事項	修学旅行に関する支援の充実を		
質問要旨	天井の見えない諸物価の高騰や運転手の働き方改革は、児童・生徒の修学旅行に大きな影響を与えています。本町の大切な子どもたちの健やかな成長を育むためにも、修学旅行に関する支援の充実が必要と考えますが、見解を伺います。		
要旨の明細	<p>修学旅行については、学習指導要領の中に定めがありますが、これを受けて各学校では教育課程で定める修学旅行の内容や旅行先を決定しています。しかし、近年はその決定に対して諸物価の高騰や運転手の働き方改革などで、大きな制約を受けているところであります。本町からの旅行距離が制限され、燃料やホテル料金等の高騰に加え、予約手続きにも苦慮している現状があります。</p> <p>また、本町は、十勝管内に限定したスクールバスでの部活動等の送迎運行ですが、修学旅行についても管外空港までの送迎支援ができないかなどの検討をする必要があると考えます。</p>		
※ 要旨の明細は、小項目にわたり、できる限り具体的かつ詳細に記載すること	<p>このことにより、修学旅行の内容や旅行先に防災・歴史・文化などの選択肢が大きく広がると考えます。</p> <p>さらに、修学旅行に要する費用には、旅行中の服装・宿泊日数分の衣服とそれを入れるバッグも必要です。そして、旅行先での移動や昼食費などにかかるお小遣いも必要です。このように修学旅行には、旅行経費のほかにも保護者には大きな負担となっています。</p> <p>保護者の収入が増えない中、諸物価などが急激に高騰している現状</p>		
質問の相手	町長・教育長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

要  
旨  
の  
明  
細

で保護者に気兼ねして、学校生活の中で大きな行事の一つであり、同級生とのかけがえのない思い出となる修学旅行をあきらめる、児童・生徒が出てくる可能性もあるのではないかと懸念されます。

十勝管内の複数の自治体でも、保護者の所得制限なしで小中学校の修学旅行経費の無償化や定額助成などの支援が取り組まれています。

本町においても、早急に修学旅行に関わる支援の充実について検討し、実施していく必要があると考えますので、以下について伺います。

- 1、スクールバスでの管外空港までの送迎支援を検討する考えは。
- 2、修学旅行実施に必要な経費の助成への考えは。

※ 要旨の明細  
は、小項目に  
わたり、でき  
る限り具体的  
かつ詳細に記  
載すること

# 一般質問通告書

議席番号 4 番

議員名 水谷令子 (1問目)

質問事項	移住定住支援の見直しで、新しい人の流れを		
質問要旨	本別町の移住定住促進支援事業は、令和4年4月から始まり、管内でも取り組みは早かったと認識しています。しかし、今の支援内容では本別町に移り住んでも近隣に働きに行く場合等は対象になりません。支援内容や周知方法を見直すことで新しい人の流れを作ることが出来ると考えますが、見解を伺います。		
要旨の明細	<p>1、本別町の移住定住支援の内容は、家賃支援、引越し費用の支援があり、対象者は、町内で正社員として採用された人、または起業を目的とした人です。本別町民になり町民税等を納めても、近隣に働きに行く場合は支援対象になりません。近隣の町では、職場を町内に限定していない町があります。新しい人の流れを取り込むには、支援内容を見直す必要があると考えますが、これまでと今後の具体的な取り組みについて伺います。</p> <p>2、働き方が大きく変化した2020年。テレワークの拡大を機に、場所を選ばず仕事をする働き方が普及しました。関係人口と呼ばれる地域外の人材が地域づくりの担い手になると期待されています。本別町でも関係人口の効果を考え、普及に向けて取り組むべきと思いますが見解を伺います。</p> <p>3、平成28年7月、とかち東北部移住サポートセンターを開設し、本別町、足寄町、陸別町、3町圏域の官民が一体となった移住希望者へのサポート体制を構築しています。ホームページの見やすさ等の工</p>		
※ 要旨の明細は、小項目にわたり、できる限り具体的かつ詳細に記載すること	町長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

要旨の明細	<p>夫や、より本別らしさをアピールすることが必要と考えますが、これまでと今後の取り組みについて伺います。また本別町はU・Jターン、東京圏からの移住支援金の支給対象となっていますが、町内の企業が積極的に活用し、周知してもらう必要があると考えますが、これまでの取り組みと課題を伺います。</p>
-------	--

※ 要旨の明細  
は、小項目に  
わたり、でき  
る限り具体的  
かつ詳細に記  
載すること

# 一般質問通告書

議席番号 5 番

議員名 梅村智秀 (1問目)

質問事項	町国保病院職員による患者への暴力行為について		
質問要旨	<p>5月28日に発生した病院職員による入院患者に対する殴打事件について、6月3日町議会に対し非公式ながらも報告があった。再発防止策を講じ責任の所在を明らかにすること、その他の被害者の有無の調査、また、院内の労働環境改善等が必要であるが事実と所信を質す。</p>		
要旨の明細	<p>1、医療機関のみならず介護施設等での暴力行為等事件が絶えないことは社会問題となっており、本件においても事件発生原因の検証と再発防止に向けた具体策を講じる必要があるが事実と所見を問う。</p> <p>2、加害職員への処分はなされるが、町長および院長の監督責任はどうになるのか事実と所見を問う。</p> <p>3、当該被害患者のみならず、過去に遡り同様の被害者、またはその疑いや不安を有している患者やそのご家族等はいかないか徹底調査を行い、その調査結果には誠実に対応をし公開のうえ、今後は安心して利用をしてもらえる病院であるよう町民にも理解をして頂く必要があるが事実と所見を問う。</p> <p>4、いかなる理由があろうと患者への暴力行為が肯定されることはないが、加害職員に対し斟酌すべき事情の有無や、医師や職員が日頃勤務するにあたり院内環境は適正であったのかなど、院内の労働環境、職員間の信頼関係の実情等、改善すべき点をここで改めて見直す必要があるが事実と所信を問う。</p>		
※ 要旨の明細は、小項目にわたり、できる限り具体的かつ詳細に記載すること	町長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

# 一般質問通告書

議席番号 5 番

議員名 梅村智秀 (2問目)

質問事項	企業誘致の現状について		
質問要旨	大手企業による事業縮小などが相次ぐ本町にとって、新たなる企業誘致は町活性化のために重要であり、優先課題と考える町民も多く、更なる取り組みが必要であるが事実と所信を質す。		
要旨の明細	<p>1、杜のいちご社は、いちごハウスに7.7億円、木育施設に4.7億円の総事業費12.4億円、年間売上見込み2.1億円で、本年6月に着工、令和8年4月より事業開始との事業計画で本町に進出予定であったが、「資材等の物価高騰により事業費が大幅に膨らむこと」、「地下水の水質検査及び設備整備が必要となったこと」、「木質バイオマスボイラーの導入費が高額となったこと」を要因とし、1年延期と発表がなされた。</p> <p>これまで、「職員の現地訪問や企業関係者の受入れ」、「町からの提案や交付金申請等の事務」、「進出予定地の取得」等を行ってきたが、杜のいちご社の企業誘致を実現させるためには、これまでの検証とあわせて更なる取り組みをし、受け入れ態勢の構築をするべきであるが現況とあわせ、今後の展望や見込みについて事実と所見を具体に問う。</p> <p>2、その他の企業誘致もあわせて行う必要があり、現況と町の取り組み姿勢、実態について具体に問う。</p>		
※ 要旨の明細は、小項目にわたり、できる限り具体的かつ詳細に記載すること	町長	一問一答細目方式	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

# 一般質問通告書

議席番号 7 番

議員名 藤田直美（1問目）

質問事項	5歳児健診で切れ目のない支援を		
質問要旨	国は、発達障がいなどを早期発見し、安心した就学（小学校入学）につなげることを目指し、2024年度から5歳児健診も助成対象に加え、自治体が実施する集団健診で1人当たり3,000円を上限に、費用の2分の1を国が補助しています。2025年度からは上限を5,000円に引き上げるなど5歳児健診の普及を進め、2028年度までに実施率100%を目指すことになりました。本町も5歳児健診を行い発達の特性に気づき、適切な支援や療育につなげるため実施するべきと考えますが、見解を伺います。		
要旨の明細	5歳児健診は法定健診ではありませんが、一部の自治体では任意で行っています。2022年度の調査では実施している自治体は14.1%でしたが、2024年8月の調査では、開始を目指している自治体は56.6%となっていますが、本町の現状などについて伺います。 1、幼児期から学齢期の特別な支援が必要な子どもの数と支援体制の現状について。 2、5歳児健診の重要性の認識と実施に向けた検討状況について。 3、発達障害と診断された後、一人一人の特性に沿ったきめ細やかな支援が必要です。実施に加え、実施後のフォローアップ体制の構築についても必要と考えますが見解は。		
質問の相手	町長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。（複数枚可）

# 一般質問通告書

議席番号 7 番

議員名 藤田直美（2問目）

質問事項	住民を巻き込んだゼロカーボンシティの推進を		
質問要旨	2024年3月に本別町ゼロカーボンシティ宣言を行いましたが、その後の取り組みが町民に伝わっていません。エネルギー価格の高騰による家庭における電気料金の負担を軽減し、家庭での省エネルギーの促進や温室効果ガスの排出を削減するため、本別町民を対象に、省エネ性能の高い家庭用電化製品の購入支援などをすべきです。		
要旨の明細	1、町民への省エネ家電等の補助制度と取り組みに向けた情報提供の両面からのインセンティブを充実させることで、家庭でのCO <sub>2</sub> 削減につながり、推進を加速させると思いますが考え方を伺います。 2、省エネ行動や家電の買い替え等により、どの程度電気代が安くなるかなどの「お得感」や、「環境への配慮」について具体的な効果や目標値を示し、町民へ伝えるべきだと思いますが、見解を伺います。 3、家庭での太陽光パネル設置では、蓄電池の耐用年数が短いことや高額であることから、進んでいないと聞きます。蓄電池補助も検討していくべきだと思いますが、見解を伺います。		
※要旨の明細は、小項目にわたり、できる限り具体的かつ詳細に記載すること			
質問の相手	町長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。（複数枚可）

# 一般質問通告書

議席番号 3 番

議員名 丑若浩行 (1問目)

質問事項	若者が住みやすいまちに		
質問要旨	町内の若者が就職、結婚などを機に居を構えようとするとき、それまで入居していた公営住宅では条件が整わず、退去する事例が見受けられます。公営住宅に限らず、賃貸住宅などの入居に当たり、さまざまな支援が必要と考えますが、見解を伺います。		
要旨の明細	<p>現在本別町では「本別町移住定住促進支援事業」を実施しており、一定の成果がありますが、この制度は町内事業所・農場等に新規採用された人や、移住し起業等を目指す人が対象です。</p> <p>また、「住宅取得助成事業」「住宅改修等助成事業」等住宅取得・改修のための事業も実施されているところですが、昨今の物価高騰により若者が取得に踏み切れない状況があります。農業の後継者であっても同様です。若者がこの町でしっかり腰を据えて家庭を持てる財源を確保できるまでの間、支援をしていく必要があると考えます。</p>		
※ 要旨の明細は、小項目にわたり、できる限り具体的かつ詳細に記載すること	<p>①住む家が決まらないため、結婚に踏み切れない方もおります。定住対策として家賃補助なども検討し、本別町の礎となっていく若者たちにさらなる支援が必要と考えますが、見解を伺います。</p> <p>②公営住宅では入居条件を国が定める公営住宅法に基づいていることは理解していますが、詳細な要件や運用は各地方公共団体の判断に委ねられています。また、現在の入居条件は物価高を加味しても時代遅れです。裁量階層でも214,000円以下、これでは子どもを育てることはできません。入居したときは独身で収入も低い状況でも、</p>		
質問の相手	町長	一問一答細目方式	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

十分な答弁が得られるよう具体的に記載して下さい。(複数枚可)

要旨の明細	<p>家族を持ち世帯収入が高くなれば退居せざるを得なくなります。そのような入居者から相談はなかったか、あればどのような内容なのか伺います。また、常時公営住宅の入居者募集を行っていますので、有効利用も兼ねて子育て世代への入居条件の緩和など必要と考えますが、検討の余地があるのか考え方を伺います。</p>
	※ 要旨の明細 は、小項目に わたり、でき る限り具体的 かつ詳細に記 載すること